

国際奉仕は、国際的なプロジェクトでボランティアを行い、また海外のパートナーとの協同活動を通じて、平和と相互理解を推進することです。国際奉仕委員会はこれまでのラオスへの支援活動に加え、ゼロベースからの具体的に支援を必要としている新たな地域対象についてアンテナを広げて情報収集し活動してまいります。シスタークラブ委員会は台湾南投クラブ訪問実現を企画してまいります。

国際奉仕委員会
松本 有祐

シスタークラブ委員会
亀山 貴聡

年度としては一昨年度になりますが、昨年4月に大宮西ロータリークラブを代表して2名の方とご家族に訪台いただき60周年記念例会(式典)にご参加いただきました。コロナ禍も明けましたので台湾・南投クラブへの訪問や交流など、更なる友好関係構築に努めていきたいと考えております。また2024年度5月はシンガポールにてロータリー国際大会・2025年度5月にはカナダのカルガリーにて、2026年度6月には台北にて開催予定となっております。2026年度6月の台北には多くの方がご参加いただけるようにこちらもあわせて推進してまいります。1年間何卒宜しくお願い致します。

社会奉仕担当理事
十文字 裕司

社会奉仕としては社会奉仕委員会と環境教育委員会の二委員会が協力していきながら、地域に求められている社会奉仕事業(活動)を展開していきます。従来から関わりのある団体との関係性についても、よりバージョンアップした関係を構築できるようにしながら、地域で求められる新たな社会奉仕事業についても、また環境教育について、近年クラブの取り組みや考えを継承していきながら、社会奉仕の一環として検討して行きたいと考えています。地区の社会奉仕部門方針にある事業にもDEIを取り入れるべきであるとの考えに準じて、全てのクラブ会員が多様性を重んじ、個々の能力を発揮でき、お互いを認め合うチームワークの基、社会奉仕事業を展開してまいります。

社会奉仕委員会
吉田 浩士

地域に住む人々の生活の質を高め公共のために奉仕することは、すべてのロータリアン個人にとっても、またロータリークラブにとっても献身に値することであり、社会的責務でもあります。まずは、地域に存在する手



を差し伸べるべき課題を洗い出し、クラブ会員の一致した協力だけではなく、活動エリア内の人々や各種団体と連携を深め、その方々と協働しながら社会奉仕を実践してまいります。具体的には、昨年度までに支援を行ってきた施設には今年度も引き続きの支援を行いながら、新たな社会奉仕活動の対象と手法を検討し、実施してまいります。社会奉仕活動を通し、地域によりインパクトをもたらし、より良い社会への変化を促す事業を推進してまいります。

環境教育委員会
竹ノ谷 純宏

近年、日本も含め世界的にもSDGsなどの広がりを受け、人々の環境に対する意識も少しずつ変化を見せだしています。しかし我々の社会が経済発展を続け高度な文明社会を得ている反面、気温上昇や大気汚染問題・食糧問題・海洋汚染等様々な形で地球環境への影響は避けて通れない課題として存在し続けています。現在の責任世代である我々ロータリアンは先人からあずかっているこの地球を次世代に対してより良い形で引き渡す役目があります。そこで環境教育を自分自身の問題と捉え、現在の地球環境をさらに学び個人で行う取り組みから、組織で出来る持続可能な奉仕活動を検討していく必要があると考えます。



青少年奉仕担当理事
川鍋 洋子

今年度は、1973年から30人の交換留学生を受け入れてきた過去の実績を土台にしてスウェーデンからの交換留学生のスポンサークラブとなります。地区と情報交換の上、大規模クラブとして、クラブ一丸となって貢献できるよう委員全員で力を合わせて活動していきたいと思っております。インターアクト、ローターアクトとの連携を深めることも青少年奉仕の充実に繋がり、また将来有望なロータリアンを育てることに繋がります。3委員会の好循環を目指して行きたいと思っております。皆様一年間ご協力を宜しくお願いいたします。



青少年奉仕委員会
配島 信恵

青少年交換は、ロータリークラブ関係者、ホストファミリーなどの支援の下15歳から19歳の学生が海外留学生生活をとおして、言語や文化を学びながら、国際理解、親善、世界平和、友好を深める素晴らしいプログラムで、留学生は、異国の文化を認め互いの懸け橋となる親善大使です。今年度、8/18にスウェーデンからエリック・エスキル君が来日し、来年6月まで大宮国際中等教育学校へ通います。大宮西からは大宮国際に通っている竹内桃歌さんが8/6に出発します。ホストファミリーは、来日した8/18~11/末迄の3カ月半 島袋会員宅でお世話になり12/1~2/末までの3ヶ月 竹ノ谷会員宅、3/1~5/末ま

